

平成15年度事業計画
(自平成15年3月1日 至平成16年2月29日)

社団法人 溶接学会

平成15年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会

1.1 春季全国大会

平成15年4月23日～25日 三省堂文化会館

研究発表講演(120件)、特別講演「皆が住みたい循環型都市(ハイブリット都市)への挑戦」、シンポジウム「新構造材料(超鉄鋼、高張力鋼)とその溶接・接合技術への期待」、フォーラム「疲労強度改善スマートマテリアル『低変態温度溶接材料』の効果と適用性」、若手会員イブニングフォーラム「未来産業と溶接について」、特別セッション(NEDOプロジェクト中間成果報告「溶接技術の高度化による高能率・高信頼性溶接技術の開発」)

1.2 秋季全国大会

平成15年10月7日～9日大阪大学コンベンションセンター(大阪)

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演

フォーラム「半導体レーザ・未来・加工」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション、ワークショップ、カタログ展示・ビデオ上映

2. 講習会

2.1 平成15年度溶接工学夏季大学(第52回)「製造現場で役立つ溶接技術とその新しい展開 - 高信頼化、低コストを目指して - 」

会期 平成15年7月1日～3日

会場 大阪科学技術センター(大阪市)

2.2 第40回工業高校教員のための溶接工学夏期講座

会期 平成15年8月

会場 東部地区

2.3 平成15年度溶接技術基礎講座(第31回)

会期 平成15年6月12日～13日

会場 溶接学会会議室

3. 刊行

3.1 溶接学会誌 自72巻2号(平成15年3月号)至73巻1号(平成16年1月号)8冊

3.2 溶接学会論文集 第21巻2号(平成15年5月)～第22巻1号(平成16年2月)4冊

3.3 全国大会講演概要集(第72集及び第73集)2冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成15年度溶接工学夏季大学教材「製造現場で役立つ溶接技術とその新しい展開 - 高信頼化、低コストを目指して - 」

3.6 溶接用語集

3.7 Mate2004 10th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics"

3.8 溶接・接合技術特論

4. 第71回通常総会

開催期日 平成15年4月24日

開催場所 三省堂文化会館

- 議題
- 1) 平成14年度事業報告承認の件
 - 2) " 収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成15年度事業計画承認の件
 - 5) " 収支予算承認の件
 - 6) 名誉員推薦の件
 - 7) 表彰

5. 評議員会

開催期日 平成15年4月23日

開催場所 三省堂文化会館

- 議 題 1) 平成 14 年度事業報告案の件
2) " 収支決算案の件
3) 監査報告
4) 平成 15 年度事業計画承認の件
5) " 収支予算承認の件

6. 役員会

6.1 理事会

定例理事会を7回(3,4,5,10,12,1,2,3各月)開催(6,7,8,9,11各月は休会)及び必要あるとき開催

6.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

6.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

7. 業務活動

7.1 企画委員会

平成 14 年度に引き続き、学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン」を作成し、会勢増強、学会構成員の評価向上、活動資金獲得、溶接(高度)技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などに重点を絞った検討を進め、理事会にアクションプランを提案し、具体化を図る。

7.2 業務活動委員長会議

会務運営を円滑にして会員サービスを向上させるため、各委員会間の連携を密にして効率のよい活動の展開を図る。

7.3 論文査読・審査委員会

投稿論文の査読並びに審査を行う。

インターネット利用による論文査読・審査システムを実施する。

7.4 全国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第 72 集及び第 72 集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

国立情報学研究所(NII)の電子図書館サービス(NACSIS-EIS)への参加に伴い、講演概要集の発行日より 12 ヶ月経過後同サービスにて公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム(J-Stage)を利用した発表及び投稿申込を実施し、発行日より 12 ヶ月経過後同サービスにて公開する。

7.5 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。

国立情報学研究所(NII)の電子図書館サービス(NACSIS-ELS)への参加に伴い、溶接学会誌は創刊号からを対象とし、発行日から 12 ヶ月経過後同サービスにて公開する。

論文集は創刊号からを対象とし、発行直後から同サービスにて公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム(J-Stage)への参加に伴い、発行直後から同サービスにて公開する。

英文誌(Science and Technology of Welding and Joining=STWJ)の共同編集に参加する。

7.6 国際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動(合同シンポジウム等を含む)を推進する。

7.7 科学研究費委員会

必要あるとき随時開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

7.8 溶接用語委員会

(1) JIW 第 6 委員会と合同で 4 回の委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援する。

(2) 溶接用語集(和英対訳)を刊行する。

(3) JIS 溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

7.9 文献資料委員会

(1) JIW 情報委員会と協力し、必要に応じて委員会を開催する。

(2) IIW - International Documentation Centerに対し、国内溶接関係文献アブストラクト交換が再開された場合には、送付する。

(3) 送付アブストラクト及び各Centerから受領したアブストラクトを活用し、会員サービスを目的とした企画を検討する。

- (4) IIW 情報委員会の活動に協力する。
- (5) 学会所有の図書、資料を整理して有効利用のための検討を行う。
- (6) その他文献活動を通じて国内及び諸外国との交流を図る。

7.10 溶接教育委員会

- (1) 溶接に関する視聴覚教材の作製を行う。
- (2) 教材の所在調査及びその利用について具体策を実施する。
- (3) 講座・講習会を企画立案し実施する。
 - 1) 平成15年度溶接工学夏季大学(前掲)
 - 2) 平成15年度溶接技術基礎講座(前掲)
 - 3) 第40回工高教員のための溶接工学夏期講座(前掲)
 - 4) 溶接・接合技術セミナー(前掲)
 - 5) 溶接技術実用講座(支部と共に)(前掲)
 - 6) 新規企画講習会、セミナーなど
- (4) IIW 第XIV等と連絡し、溶接教育に関する国際活動に参加する。
- (5) 国際級(IIW)対応技術者向け教育システムのあり方検討ワーキング・グループ(IWEWG)が活動する。
- (6) WESテキストの改訂を検討する。
- (7) 日本技術者教育認定機構(JABEE)に協力する。
- (8) 日本工学会のPDE協議会及びCPD委員会に協力する。

8. 若手会員の会(共催:(財)溶接接合工学振興会)

8.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

8.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム
例年どおり全国大会の講演と重複する時間を避け、夕刻からの開催とする「イブニングフォーラム」の形式を踏襲する。
主題: 未来産業と溶接について
日時: 平成15年4月24日(木) 17:00~19:30
場所: (株)三省堂文化会館(春季全国大会開催会場)
なお、秋季全国大会時にもイブニングフォーラムの開催を予定しているが、内容や形式については現在のところ未定である。
 - (2) 基礎セミナー
第5回「これから溶接・接合を学ぶ人たちのための溶接法基礎講座」
今年度より支部制を施行したことをうけて、恒例の上記「基礎講座」を、前回のように参加者の方々のニーズをとらえたテーマを設定するとともに、地方(東京・大阪以外の場所)で開催する方向で調整中である。実施時期、場所等は現在検討中である。
 - (3) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を支援する。
 - (4) 若手会員間における学会へのニーズ、期待を把握し、溶接学会のあるべき姿の提言を行う。
- #### 8.3 情報交換および広報
- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。
 - (2) ホームページに活動報告、研究室・研究所紹介等を掲載する。また、研究室・研究所紹介については、ホームページ上からキーワードで検索できるシステムを構築する。
 - (3) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進する。

9. 研究活動

9.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動情況の把握及び調整並びに特別研究会の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。
- (2) アドホック研究会が2件活動する。
- (3) 特別研究会「建築鉄骨溶接」が終了する。
- (4) 特別研究会「摩擦攪拌溶接の高度化」が発足する。
- (5) 春季全国大会においてフォーラム(溶接疲労強度研究委員会)を開催する。(前掲)
- (6) 秋季全国大会においてフォーラム(高エネルギービーム加工研究委員会)を開催する。(前掲)

9.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年5回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第158回	3月	東京	研究報告5~6件(日本造船学会構造・材料研究委員会との合同委員会)
第159回	4月	東京	研究報告5~6件(ソウル大学との合同委員会)
第160回	7月	大阪	研究報告5~6件
第161回	10月	地方	研究報告5~6件, 見学会
第162回	1月	大阪	研究報告5~6件(日本造船学会構造・材料研究委員会との合同委員会)

9.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第182回	5月	東京	基調講演, 研究報告5~6件
第183回	7月	大阪	基調講演, 研究報告10~12件
第184回	11月	地方	" " , 見学会
第185回	2月	東京	" "

JIW 第4委員会及び第12委員会と協力して国際的研究活動を行なう。

溶接法ガイドブック5(和文・英文版)の編集・発刊

9.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第172回	5月	東京	研究報告5~6件
第173回	8月	大阪	"
第174回	11月	地方	" , 見学会
第175回	2月	東京	研究報告10~12件

JIW 第2及び第9委員会と協力して国際的研究活動を行う。

9.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第197回	4月	東京	研究報告5~6件
第198回	6月	東京	"
第199回	11月	地方	" , 見学会
第200回	1月	東京	"

JIW 第13委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

9.6 高エネルギー加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第43回	6月	東京	シンポジウム
第44回	9月	地方	研究報告5~6件
シンポジウム	10月	大阪	第4回高エネルギーーム加工シンポジウム
第45回	1月	東京	研究報告5~6件

JIW 第4委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

9.7 軽構造接合研究委員会

(1) 開催回数 年4回

(2) 会期 1回の会期は1日とする。

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第61回	6月	東京	講演・研究報告4~5件
第62回	9月	大阪	"
第63回	11月	地方	"
第64回	1月	東京	" , 見学会

JIW 第3委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG活動を行う。

9.8 溶接アーク物理研究委員会

(1) 開催回数 年4回

(2) 会期 1回の会期は1日又は2日とする。

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第150回	5月	東京	年度を通じ溶接現象に関する事実と法則の探求と溶接機構の解明について研究討論を行う。
第151回	7月	大阪	
第152回	11月	東京	
第153回	1月	東京	

JIW 第212委員会と協力して国際的研究活動を行う。

9.9 マイクロ接合研究委員会

(1) 開催回数 年4回

(2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第71回	5月	東京	講演, 研究発表4~7件
第72回	9月	東京	"
第73回	12月	東京	"

(4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催期	開催地	内 容
第35回	7月	東京	単独開催, テーマ設定方式
第36回	10月	東京	"

(5) Mate2004シンポジウムを開催する。

(6) 研究会活動を行う。

(7) JIWのマイクロ接合委員会と協力して国際的研究活動(IIW等)を行う。

9.10 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は1日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第63回	5月	東京	特別講演1件、研究発表4~6件
第64回	9月	東京	" "
第65回	1月	東京	" "

JIW 第1委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

10. 国内活動

- 10.1 日本学術会議接合工学専門委員会、同金属工学研究連絡委員会、同材料工学研究連絡委員会、造船学研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、電子技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。
- 10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。
- 10.3 支部活動を活発に行う。

11. 国際活動

- 11.1 JIWの活動を支援し、IIWの活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。
- 11.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。
- 11.3 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別講演の実施、訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。
- 11.4 米国溶接協会(AWS)、大韓熔接学会(KWS)、及びベトナム溶接学会(VWS)の各協力協定に基づき交流活動を推進する。

平成15年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

- 1.1 講習会、セミナ - など「テーマ」
「見学会」
会期 平成15年6月 (場所 未定)
「溶接技術講習会」
会期 平成15年11月 (場所 未定)
「技術セミナー」
会期、場所 (未定)
「映画会」
会期 平成16年1月
場所 道内関連大学、高専、企業

2. 会務報告

- 2.1 平成15年度通常総会
「平成15年度支部商議員会並びに支部総会」
会期 平成15年3月20日
場所 北海道大学工学部
- 2.2 常任幹事・地区委員長会議など
「北海道支部幹事会」
3回予定
「各賞受賞者審査会及び選考委員会」
会期、場所 (未定)

2. 東北支部

1. 事業

- 1.1 第40回商議員会
平成15年5月10日 (土) 午前11時より
社団法人日本溶接協会東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

1.2 表彰

平成14年度溶接技術奨励賞（2名）、溶接技術普及賞（2名）授与、奨学賞（1名）、東北支部奨学賞（2名）（授与報告）

平成15年5月10日（土）午前11時より

東北地区溶接技術検定委員会会議室

1.3 総会：平成14年度と同様郵送による形式。

1.4 研究会：第15回溶接・接合研究会を平成15年7月18日（金）、秋田大学工学資源学部（秋田県秋田市）にて開催予定

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第29回 実用溶接講座

主題等現在検討中。

1.2 地区講演会・講習会

（1）東京地区：11月頃実施予定

（2）神奈川地区：実施予定（時期未定）

（3）千葉地区：実施予定（時期未定）

（4）茨城地区：実施予定（時期未定）

（5）埼玉地区：実施予定（時期未定）

（6）栃木地区：実施予定（時期未定）

（7）群馬地区：実施予定（時期未定）

（8）新潟地区：実施予定（時期未定）

（9）山梨地区：実施予定（時期未定）

（10）長野地区：実施予定（時期未定）

2. 平成15年度通常総会

通常総会は隔年開催のため、本年度は開催せず、審議事項については書類審査とする。

2.1 特別講演

実施せず。

2.2 表彰式

日 時：平成15年5月23日（金）16：30～17：00

第130回常任幹事・地区委員長会議議事終了後に開催。

場 所：（社）溶接学会 会議室

懇親会：17：00～19：00（（社）溶接学会 会議室）

2.3 常任幹事会・地区委員長会議

第130回 平成15年5月23日 溶接学会会議室

* 第131回以降は、適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業

1.1 講習会、セミナーなど

講習会 1回

溶接研究会 3回

1.2 刊行

第12回講習会テキスト

2. 会務報告

2.1 平成15年度支部総会

平成15年5月に予定

2.2 幹事会、支部商議員会
支部商議員会を2回予定

5. 北陸支部

1. 事業

特別講演会 1

会期 平成15年7月及び11月予定（場所 未定）

2. 会務報告

2.1 平成15年度通常総会

会期 平成15年7月予定（場所 未定）

2.2 幹事会・商議員会

会期 平成15年7月及び11月予定（場所 未定）

6. 関西支部

1. 事業

1.1 見学会

会期 平成15年10月9日（木）

会場 大阪大学 接合科学研究所およびレーザー核融合研究センター

1.2 技術セッション

会期 平成15年10月7日（火）

会場 大阪大学コンベンションセンター

テーマ 「溶接構造物のメンテナンスと長寿命化」

1.3 ワークショップ

会期 平成15年10月8日（水）

会場 大阪大学コンベンションセンター

テーマ 各種工業材料の最近の溶接施工技術と不具合対策

（以上、3.1から3.3は平成15年度秋季全国大会に併設）

1.4 シンポジウム

会期 平成16年3月中旬に開催予定

会場、テーマ 未定

2. 会務

2.1 平成15年度通常総会（平成15年5月 開催予定）

2.2 平成15年度表彰式（平成16年3月 開催予定）

7. 中国支部

1. 事業

（1）第7回研究会・見学会

6月（バブコック日立（株）。「圧力容器から燃料電池まで」をテーマとする）

（2）「溶接・接合工学」勉強会

9月（広島大学または近畿大学）

（3）平成15年度溶接技術講習会

10月（広島または岡山。平成16年度秋季全国大会に向けて、「溶接・接合・加工」全般に亘る有料講習会を開催）

（4）中国支部50周年記念行事

11月（広島）

2. 会務

（1）第1回支部幹事会

5月（研究会・見学会、「溶接・接合工学」勉強会、溶接技術講習会の具体計画立案）

（2）第2回支部幹事会、支部表彰「授賞審査委員会」

12月（事業・会務結果フォローおよび16年度事業・会務計画）

（3）支部商議員会・幹事会合同会議および平成15年度支部総会

3月（平成15年度事業・会務報告および平成16年度事業・会務計画）

8. 四国支部

1. 事業

1.1 溶接技術実用講座（第2回）

日時 H15.8.29

講演題目 未定

場所 愛媛県工業技術センター

1.2 溶接技術基礎講座（第2回）

日時 H15.11.28

講演題目 未定

場所 高知県工業技術センター

1.3 その他共催行事

日時、講演題目、後援、場所等未定

2. 会務報告および会務計画

2.1 材料関連学会支部・研究会連合講演会

日時 H15.3.7

共催 高温学会四国支部、溶射協会四国支部、四国材料科学研究会、四国テクノサイエンス研究会、四国地方非破壊検査研究会

場所 愛媛県工業技術センター

2.2 幹事会

日時 H15.3.7 香川県産行技術センター

日時 H15.8.29 愛媛産業技術センター

日時 H15.11.28 高知県産業技術センター

9. 九州支部

1. 支部総会（1回）

2. 研究発表会（1回）

3. 溶接研究会（2回）

4. 商議員会（1回）

5. 溶接設計講座開設準備会合（3回）

6. 溶接設計講座（15回）